

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持事業 道路舗装等維持補修工事						
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市道1, 687路線、総延長約747kmのうち、特に生活と密着した道路の維持補修を行い、道路利用者の安全性、利便性の向上を図る。				区分	No.	区分名		
					款	7	土木費		
					項	2	道路橋梁費		
					目	2	道路維持費		
細目	1	道路維持費							
根拠条例等	道路法42条(道路の維持または修繕)								
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備								
H26年度事業の概要	市道を、安心して利用できるよう道路整備を行う。特に、年々老朽化している舗装補修や道路側溝、街路灯の補修等を行う。道路舗装維持補修				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	市民の安全なネットワークの確保				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	40,000			
					H26予算額	A 40,000			
					H25当初予算額	B 40,000			
H25現計予算額	40,000								
増減額	A-B ▲ 500								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		41,072	40,000						
従事職員数【人工】		0.70	0.70						
人件費(人工×8,000千円)		5,600	5,600						
総事業費:人件費含む(千円)		46,672	45,600						
活動指標名		整備延長							
活動指標の算式		整備延長/総事業費							
活動指標の実績		1,344	単位	m			1,400	単位	m
単位当たりコスト(円)		34,726	32,571						
事業の目標	誰もが安全安心で、生き生き暮らせる地域づくりの推進。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路改良と補修の実施	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 道路ストック総点検		
所管課	181	建設課	(建設部)		
事業の目的 市道橋梁の点検を行い道路の安全性及び道路の長寿命化を図る。			宇陀市一般会計予算		
			区分	No.	区分名
			款	7	土木費
			項	2	道路橋梁費
			目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費			
根拠条例等	「道路法42条」(道路の維持又は修繕)				
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備				
H26年度事業の概要	道路ストックの総点検事業 ・橋梁点検 ・L=15m以下の橋梁(20基) ・第三者被害(3基)			財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の成果 道路の安全性の確保及び長寿命化を図る。			分担金	
使用料					
			国費	9,600	
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源	7,133	
			H26予算額	A 16,733	
			H25当初予算額	B	
			H25現計予算額	67,000	
			増減額	A-B 16,733	
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)			67,000		
従事職員数【人工】			0.30		
人件費(人工×8,000千円)			2,400		
総事業費:人件費含む(千円)			69,400		
活動指標名		点検済橋梁数			
活動指標の算式		-			
活動指標の実績			101	単位	基
単位当たりコスト(円)			687,129		
事業の目標 市道橋梁の点検を行うことにより、安全性の確保及び道路の長寿命化を図る。			特定財源の状況		
			社会資本整備総合交付金 9,600千円		
			※H25現計予算額はH24からの繰越分		
事業の目標			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (10)道路ストック総点検事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	交通安全施設整備事業					
所管課	181	建設課	(建設部)					
事業の目的 市道1, 687路線、総延長約747kmのうち、特に生活と密着した道路の防護柵、カーブミラーや区画線の維持補修を行い、道路利用者の安全確保を図る。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路維持費	
細目	3	交通安全施設整備費						
根拠条例等	道路法42条(道路の維持または修繕)							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	市道の安全確保のため、カーブミラーの新設、修繕や道路防護柵(ガード レール)の新設、補修を行う。 また、道路面に於けるセンターライン等の区画線の塗り直しを行う。 公安修繕費 800千円 公安新設工事 5,200千円 計 6,000千円				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の成果 市道利用者の安全確保。				分担金			
				使用料				
				国費				
				県費				
				市債				
				その他				
				一般財源	6,000			
				H26予算額	A 6,000			
				H25当初予算額	B 6,000			
				H25現計予算額	6,000			
				増減額	A-B			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		5,996	6,000					
従事職員数【人工】		0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800	800					
総事業費:人件費含む(千円)		6,796	6,800					
活動指標名		整備箇所数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		50	単位	箇所		50	単位	箇所
単位当たりコスト(円)		135,920	136,000					
事業の目標		市道利用者の安全性、利便性の確保。				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (7)防犯灯、交通安全施設の整備		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	急傾斜地崩壊対策事業負担金				
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	奈良県土砂対策基本方針により、代替性のない避難箇所や自力で避難が困難な方が24時間入居している災害時要援護者施設関連を守る対策を優先的に実施する。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	3	河川費
					目	1	河川総務費
細目	1	本庁河川総務費					
根拠条例等	奈良県土砂対策基本方針						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H26年度事業の概要	代替性のない避難施設を優先的に実施、				財源の内訳 (単位:千円)		
	菟田野下芳野地区(菟田野芳野地区体育館) 菟田野佐倉地区(菟田野農家高齢者創作館) 大宇陀野依地区(旧野依小学校)				分担金		
事業の成果	災害時の避難施設において、県施工により対策工事を行い、地域住民の安全を確保する				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	6,053	
					H26予算額	A	6,053
					H25当初予算額	B	4,200
H25現計予算額		9,082					
増減額	A-B	▲ 3,024					
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		8,064	9,082				
従事職員数【人工】		0.30	0.30				
人件費(人工×8,000千円)		2,400	2,400				
総事業費:人件費含む(千円)		10,464	11,482				
活動指標名		箇所数					
活動指標の算式		—					
活動指標の実績		5	単位	箇所			
単位当たりコスト(円)		2,092,800	2,296,400				
事業の目標	奈良県土砂対策基本方針に基づき、避難施設において対策工事を行い、地域住民を土砂災害から守り、安全を確保する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (11)急傾斜地崩壊対策事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>榛原駅前活性化事業</b>				
所管課	161	都市計画課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	地域の商店街と連携し、宇陀・大和高原の特産物の販売、地域の観光や特徴をPRする情報発信を空店舗を活用してまちおこしと賑わいのある空間を作るとともに、地域の雇用の創出を図る。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費					
根拠条例等							
総合計画	総合計画 第5章 第1節 農林業の活性化、第2節 商工業の活性化						
H26年度事業の概要	平成26年度要望 5,246千円 人件費 4,344千円 その他 902千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	榛原駅周辺は、宇陀市の玄関口として地域住民や来訪者などが行き交う賑わいに溢れる地域であるが、人口の減少や商店街の空洞化、高齢化が進んでおり、交通拠点としての立地を活かした商業サービス機能の充実が必要である。今後(仮称)まちづくりだ会社を立ち上げるにより雇用の創出ができる。				分担金		
使用料							
国費					5,246		
県費							
市債							
その他							
一般財源							
H26予算額					A	5,246	
H25当初予算額	B						
H25現計予算額		4,918					
増減額	A-B	5,246					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/	4,918	起業支援型地域緊急雇用創出事業 5,246千円				
従事職員数【人工】		0.50					
人件費(人工×8,000千円)		4,000					
総事業費:人件費含む(千円)		8,918					
活動指標名	調査件数(件)						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	単位	280	単位	件			
単位当たりコスト(円)		31,850	備考				
事業の目標	まちづくりの主役は地域を支える市民であり、まちづくりは市民と行政など多様な主体が協働して進めることが重要である。市民活動を支援し、協働によるまちづくりを展開していく必要がある。				<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (6)榛原駅前活性化事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	住宅・建築物安全ストック形成事業			
所管課	161	都市計画課	(建設部)			
<b>事業の目的</b> 大規模地震発生時に被害が大きくなると予想される旧基準建築物について、耐震診断の実施により耐震性を把握し、耐震改修を行うことで既存木造住宅の安全性向上を推進する。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	7	土木費	
			項	4	都市計画費	
			目	1	都市計画総務費	
細目	1	本庁都市計画総務費				
根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律 ・ 宇陀市耐震改修促進計画					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H26年度事業の概要	・既存木造住宅耐震改修支援事業 3戸×500千円=1,500千円 ・既存木造住宅耐震診断事業 10戸×45千円=450千円			<b>財源の内訳 (単位:千円)</b>		
	<b>事業の成果</b> 地震により耐震性が不十分な建築物の被害が軽減されることにより、仮設住宅やがれきの減少が図られ、早期の復旧・復興に寄与すること、また、避難路が確保されることなどから避難、救命、消火等の活動が速やかに行えることで、災害の拡大を防ぐことが出来、人的被害・物的被害を軽減できる。			分担金		
使用料						
国費				975		
県費				487		
市債						
その他						
一般財源				488		
H26予算額	A	1,950				
H25当初予算額	B	1,770				
H25現計予算額		1,950				
増減額	A-B	180				
<b>事業のコスト</b>			<b>特定財源の状況</b>			
決算額又は決算見込額(千円)	1,160	1,950	国庫補助金 住宅建築物耐震改修等事業補助金 975千円			
従事職員数【人工】	0.10	0.20	県費補助金 奈良県既存木造住宅耐震診断支援事業補助金 487千円			
人件費(人工×8,000千円)	800	1,600				
総事業費:人件費含む(千円)	1,960	3,550				
活動指標名	軒数(戸)					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績	10	単位	戸	13	単位	戸
単位当たりコスト(円)	196,000		273,077			
<b>事業の目標</b>	地震時における人的被害等を軽減させるため、耐震性が不十分な住宅等の建築物の耐震化率を平成27年度までに90%にすることを目標とする。			<b>備考</b> <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (9)既存木造住宅耐震診断・改修支援事業		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート


宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	平成榛原子供のもり公園費(バーベキュー施設整備)				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	当該公園の大きな集客施設であるバーベキュー施設を、簡易な雨除け改修を施し、利用者が天候を気にせず安心して利用ができるよう、更には利用率の向上と安定収入を図る。 施工には、市民協働の観点から、地元建築労働組合の協力を得て、組織の活動イベントの一環として実施する。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
細目	62	子供のもり公園費					
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H26年度事業の概要	15基のバーベキュー施設の内、当概年度において5基設置と炊事場5基を設置。 木造(地元産材)平屋建て(片屋根式) 原材料 171.7千円 ×10基=1,717千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	天候によるキャンセルを減らすことにより、安定した収入と利用者の利便性を図り、公園全体の利用向上に繋げる。 平成24年4月~9月の利用状況 予約数 1,068件 キャンセル数 356件 890,000円 実利用数 712件 1,780,000円 キャンセル割合 33% 平成25年4月~9月の利用状況 予約数 954件 キャンセル数 265件 662,500円 実利用数 689件 1,722,500円 キャンセル割合 28%				分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,717	
				H26予算額	A 1,717		
				H25当初予算額	B 1,400		
				H25現計予算額	1,400		
				増減額	A-B 317		
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			1,400				
従事職員数【人工】			0.02				
人件費(人工×8,000千円)			160				
総事業費:人件費含む(千円)			1,560				
活動指標名		整備率					
活動指標の算式		全体整備個数/整備済個数					
活動指標の実績		単位	50	単位 %			
単位当たりコスト(円)			31,200				
事業の目標	バーベキュー施設の安定的な収入と利用者の利便性を図り、公園全体の利活用を図る。				備考		
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備		



平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	東町西峠線道路改良事業					
所管課	161	都市計画課	(建設部)					
事業の目的 ・国道165号線萩原交差点の改修工事と合わせて、東町西峠線を開通することにより、天満台団地及び、ひのき坂団地からのアクセス強化と、榛見ヶ丘団地の定住促進、国道370号線菟田川どおりの渋滞緩和、市街地の道路交通網の整備促進を目的とする。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	4	都市計画費	
					目	4	社会資本整備推進事業費	
細目	1	社会資本整備総合交付金事業費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H26年度事業の概要	・平成26年度予算額 465,212千円 ・工事 (道路改良L=80m ・ボックスカルバート) ・委託 (分筆登記・土質調査費) ・用地補償 (3軒) ・事務費			 平成26年度予定				
	・事業の成果 ・近鉄榛原駅北口へのアクセス強化と駅南広場の交通渋滞の緩和を図ると共に、歩行者の安全確保、火災時や地震時の避難路となる。 ・安全な道路及び歩道を整備することにより、高萩台自転車駐車場の利用度のアップが期待される。 ・平成26年度に奈良県宇陀土木事務所が国道165号線萩原交差点の改良を計画されている。事業完了に合わせて全線を開通することにより、渋滞緩和や、道路の環境整備が図られる。			財源の内訳 (単位:千円) 分担金 使用料 国費 174,000 県費 市債 286,400 その他 一般財源 4,812 H26予算額 A 465,212 H25当初予算額 B H25現計予算額 640,700 増減額 A-B 465,212				
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況 社会資本整備総合交付金 174,000千円 合併特例債 286,400千円 ※H25現計予算額はH24からの繰越分			
決算額又は決算見込額(千円)		300,000	358,000					
従事職員数【人工】		2.00	2.00					
人件費(人工×8,000千円)		16,000	16,000					
総事業費:人件費含む(千円)		316,000	374,000					
活動指標名		進捗率%						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		62.0	単位 %	87		単位 %		
単位当たりコスト(円)		5,096,774	4,298,851					
事業の目標	・近鉄榛原駅を中心とした道路整備を行い、交通渋滞の緩和、定住促進、安全性、利便性の向上、災害時の避難路の確保等が図られ、安心・安全なまちづくりが図られる。			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (1)効果的な道路改良と補修の実施				